

10月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/10/17 (月)	東京はレンジ内での一進一退。強弱材料が交錯し、それを受けてボックスのなかで乱高下する展開。欧米はドル独歩高。米経済指標は予想よりもかなり悪化した。それをものともせずドルは買い進められた。	・小泉首相が靖国神社を参拝 ・日銀が議事録公開 ・来日中のFRB議長が小泉首相を表敬訪問、福井日銀総裁と会談 ・10月のNY連銀製造業景気指数12.1	・米財務長官「次回報告書で中国を為替操作国と認定するか判らない」 ・ECB政策委員「これまでのところ政策金利は適切」 ・FF連銀総裁「米国は投資家にとって引き続き魅力」	114.22 113.75 114.97 114.92	137.81 137.65 138.47 138.19	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/18 (火)	早朝から強含みとなっていたドルだが対円では早々に115円台へ。話話細田発言も円安を支えた。欧米でドルは強保ち合い。116円手前のバリアに上値は阻まれたもののドルは強含み。対ユーロでもしっかり。	・10月の独ZEW期待指数39.4 ・9月の米PPIは1.9%、8月の対米証券投資は913億ドルの買い越し ・加中銀が25BPの金利引き上げ	・細田官房長官「市場介入は考えていないだろう」 ・岩田日銀副総裁「CPIは年末頃にかけてゼロないし若干のプラス」 ・ECB総裁「原油高が二次的影響をもたらせば断固として行動」	115.27 115.21 115.94 115.70	138.38 138.05 138.67 138.35	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/19 (水)	東京はドル高というよりユーロ安の様相。終盤に掛けユーロドルは1.19ドルを割り込む局面も見られた。欧米でユーロは急反発。材料というよりも対ドルで年初来安値に接近したこと達成感が台頭していた模様。	・BOE議事録発表、利下げに関する議論なし ・関東地方でやや強い地震発生 ・米地区連銀報告 ・8月の米住宅着工件数210.8万戸	・イッソグ ECB理事「原油価格がインフレ率を押し上げる」 ・NY連銀総裁「米国の経常赤字は維持不可能」	115.83 115.25 115.98 115.44	138.19 137.66 138.58 138.45	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/20 (木)	東京は一時ドル高に振れるも行って来い。日経報道でドル買われたが日銀総裁発言で逆に円買い進む。欧米はドル弱含み。発表された米経済指標は良好だったが、それよりむしろ米欧金利差縮小思惑が好感。	・史上最強ハリケーン「ウィルマ」がフロリダ州直撃の恐れ ・米著名情報社「ECBは来年第一四半期に利上げ」とのレポート送信? ・10月のFF連銀景況指数17.3	・福井日銀総裁「年末に掛けCPIがプラスになる可能性見えてきた」 ・日経新聞「生保外債投資拡大、ドル高見込む」 ・アトランタ連銀総裁「FRBは中立の金融政策に向けて引き続き行動」	115.33 115.29 115.78 115.32	138.22 138.06 138.67 138.65	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/21 (金)	東京はユーロが続伸。前日欧米タイムの流れを継ぎ金利差に着目した買いが優勢だった。欧米は一転ドル独歩高。米テロ思惑などから弱含みで寄り付くも、その後は損切りを巻き込みつつドル急騰。	・8月の第三次産業活動指数1.7% ・NYの地下鉄で火災発生、テロ思惑に繋がる ・一部で出所不明の人民元切り上げの噂	・谷垣財務相「為替の思惑的な動きは好ましくない」 ・イッソグ ECB専務理事「中銀はインフレリスクを強く警戒すべき」 ・バラモECB専務理事「インフレ期待は抑制されている」	115.18 114.97 115.98 115.90	138.67 138.32 139.16 138.52	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/24 (月)	東京はドルの高値圏で揉み合い。ただ終盤は人民元絡みの話が出て対円でやや値を崩した。欧米はドル安。次期FRB議長を巡る騒動で右往左往の展開。バーナンキ氏の過去の言動からドル小安い。	・米著名情報社が「本日中に次期FRB議長を発表」と流し話題に。その後「バーナンキ氏が本日の会合をキャンセルした」とのニュース。そして「次期議長を本日中に発表」との正式告知があり、噂どおりバーナンキ氏に落ち着く	・人民銀政策委員「為替調整を一度でやることは中国にとってリスク」 ・渡辺財務官「人民元改革の習熟期間は過ぎた」 ・BOE総裁「グリーンズバント議長の後任は容易でない」	115.88 115.06 115.95 115.45	138.24 137.97 138.48 138.38	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/25 (火)	東京はドル高値圏で揉み合い。新規材料に乏しく全体的には手控えムード強い。欧米はユーロが独歩高。発表された独指標が良好であったうえ米テロ懸念などが嫌気されユーロ嗜好強い。	・10月の独IFO景況指数98.7 ・カルフオルニアの空港が爆破予告で閉鎖、との一部報道あり ・9月の米中古住宅販売728万戸、10月の米消費者信頼感指数85.0	・人民銀副総裁「人民元と米ドルの変動幅をすぐに拡大することはない」 ・次期FRB議長「米国の財政・金融政策は依然緩和的」 ・ウェーバー-ECB政策委員「物価の上ぶれリスクは顕著に高まった」	115.60 114.61 115.74 115.03	138.25 138.05 139.29 138.26	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/26 (水)	東京は前日の反動もありドル買戻しが優勢。ただ上値は利食い売りなどに抑えられた。欧米タイムにドルは続伸。10年債利回りが4.5%台から4.6%台へ上昇したことなどが材料視されていた。	・9月の貿易黒字9570億円、前年同期比 21.1%	・ウェーバー-ECB政策委員「ECBはインフレ期待抑制で行動する必要も」	115.17 114.91 115.94 115.87	139.36 139.15 139.95 139.83	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/27 (木)	東京は朝方のあとドルが小安い。谷垣発言なども円安牽制と受け取られ、一段と円は売り難い雰囲気。欧米はユーロが小じっかり。米スキャンダルなどに着目した向きが多く消去法的にユーロの嗜好強まる。	・アムステルダム空港で火災発生、テロ懸念へ ・マイヤーズ氏が連邦最高裁判事の指名を辞退 ・9月の米耐久財受注 2.1%、同新築住宅販売122.2万戸	・谷垣財務相「為替はファンダメンタルズを安定的に反映すべき」 ・細川財務次官「為替はファンダメンタルズを反映し安定推移が重要」 ・スノ-米財務長官「強いドルは米国の国益」	116.15 114.85 116.16 115.45	139.97 139.61 140.20 140.16	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/28 (金)	東京はドルが湧えない。人民元切り上げ思惑に加え、欧州利上げ観測から結果ドル売りがかさんだ。欧米は一転ドルの買戻し。CIA情報漏洩問題も予想ほどのダメージはないとの見方からドル買い材料に。	・9月の失業率4.2%、同鉱工業生産0.2% ・第3Qの米GDP速報値3.8%、同雇用コスト指数0.8%、10月のシカゴ大景況指数74.2	・英FT紙「米大統領ら訪中前で中国に人民元切り上げ圧力」 ・蘭中銀総裁「物価圧力を抑制するには言葉だけでは不十分」 ・CIA情報朗読問題でフェイス-副大統領側近の北-首席補佐官を起訴	115.31 115.08 115.70 115.68	140.00 139.37 140.20 139.60	24H 寄付 安値 高値 終値
05/10/31 (月)	東京は揉み合い。日銀会合、内閣改造と材料はなくもなかったが、全体的には動意に欠けた。欧米はドルが急上昇。翌日FOMCでの米利上げを先取りした格好が終始ドルは強含み。	・第三次小泉内閣改造 ・日銀会合は7:2で政策据え置き ・9月の米個人所得1.7%、同個人消費0.5%、10月のシカゴPMI62.9	・福井日銀総裁「量的緩和解除後、ゼロ金利が続くか終わるかはまだオープン」	115.75 115.54 116.47 116.40	139.63 139.34 139.87 139.60	24H 寄付 安値 高値 終値

\* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>